

草と木の調査「城山公園の植物」の活動報告

※北水 慶一

1. はじめに

大磯町郷土資料館では、平成 11 年度より館主催の講座として「草と木の調査」を実施している。講座を開始した趣旨については『大磯町郷土資料館年報～平成 11 年度～』内の研究報告に記しているが、再度、概略を述べると本講座は平成 2 年度から平成 10 年度の間に実施してきた自然観察会に替わるもので、従来の自然観察会の多くは、単日日程で進めてきた。企画立案者として観察会を繰り返す中、単日日程の講座ではその場限りで十分な理解に結びついていないと感じることが多くなり、開館 10 年を契機に企画内容を根本的に替えることにした。それが講座「草と木の調査」であり、特定の期間もしくは 1 年間継続して実施している。

講座を始めた平成 11・12 年度は“秋の植物”の分布について調査した。内容は初秋から晩秋に開花する植物、秋に特徴的な果実を付ける植物を 15 種（平成 12 年度は 18 種）抽出し、講座の参加者ととも町内を巡回調査し、町内における各植物の分布状況を調べるものであった。平成 13 年度からは当館のある神奈川県立大磯城山公園の花ごよみ調査を中心に同園の植物の種類や生育場所を調査している。本報告は城山公園の植物調査を始めた経緯と現在の実施内容について記すものである。調査開始から 3 年が経過し、貴重なデータが多数集まってきているが、具体的な調査結果の公表については本講座の参加者の意向にそった形で、報告したいと考えている。

2. 前企画「“秋の植物”の分布調査」の反省から

平成 11・12 年度の調査を通して感じたことは、教育普及活動事業に結果を求める調査を組み込むことの難しさであった。教育普及活動とは文字通り、“普及”、広く一般の方々にテーマに即したカリキュラムを展開し、学習内容の習得を図るものであるが、学習の場を提供するだけでなく、調査を通して資料館資料に結び付くような結果を求めることは、必ずしも“普及”と“調査”とで手法が一致しない状況が生じることもあり、難しさを感じた。例えば、調査した場所に対象とする植物がないということは調査の上では意味のあることと思われる。しかしながら、毎回どこに行っても対象とする植物が見られない状況となれば、本来の教育普及としての目的から外れるように感じる。実際の調査では参加者を数班に分け、各班ともに午前 9 時から正午までの 3 時間で 4 km 程度歩くコースを設定したが、各班の調査コース設定にあたり、想定されるいくつかのコースを事前に歩いて廻り、観察にも調査にも適したコース取りを設定した。そのため、事前に歩く

距離が調査日当日、巡回する距離の凡そ 3 倍の距離なることも多々あった。資料館職員が単独で調査するのではなく、多くの住民の方々の協力を得て調査し、結果を導くということが本来の目的であったが、事前に巡回することで既に状況を把握してしまい、何故、参加者を募って調査をしているのか私自身、分からなくなることがあった。

また、講座の回数が進むにつれ、参加人数に対する調査範囲、調査を実施するペースに問題を感じるようになった。参加者は平成 11 年度が 10 人、平成 12 年度が 6 人であった。毎回、2 人または 3 人で班を編成し、事前に設定したコースを巡回するのだが、1 日に廻れるコースは参加者の出席率に影響され、1～3 コース。1 日あたり最長で 12km 程度（4km×3 コース）。調査期間は 9～11 月で、月 1 回ペースの調査としているため、実質的に調査可能な範囲は 36km（12km×3 回）。大磯町は東西に約 7.5km、南北に約 2.5km、面積は 17.23km²であり、36km 程度の巡回調査ではごく一部分、断片的にしか確認することができなかった。また、調査結果のまとめとして、植物の種類ごとに地図に確認場所を落としていったが、9 月と 11 月とでは種によっては開花状況にかなり差があり、同一の表に落とすことに対して問題を感じた。2 年間の講座の成果として、平成 13 年 1 月 7 日から 2 月 18 日まで企画展『草と木の調査～秋の植物～』速報展を実施したが、調査データについては、臨時職員の方々に補助していただき、平成 12 年 10 月 5 日～24 日（延べ 9 日間）の間に補足調査を行い、町全域のデータを得た次第である。結局のところ、住民参加型とは名ばかりで、意義のある調査には至らなかった。以上のようなことを反省点、改善点として踏まえ、新たな調査を進めることとした。

3. 調査の方向性について検討

まず、調査の進め方として 2 通りの選択肢を考えた。調査範囲を町全域とするのか、特定の場所にするのかどちらかである。町全域を範囲とするならば、調査対象とする植物を数種絞ることが必要であり、調査期間についても前回の調査から植物は季節による状態の変化があり、必ずしも容易に同定できる時期ばかりではないことを強く認識させられており、長期にわたった計画を立てず、同じような開花状況が見られる連続した数日間で記録を取るのが望ましいと考えた。

後述の特定地域の調査については、平成 10 年に国立科学博物館付属教育園主催の生態実習「自然観察の方法」に参加した際、講義で生物ごよみ作成について教わり、当館の教育普及活動にも内容的に活用できるのではと考えていた。生物ごよみとは、それぞれの種がいつ確認できるか、またいつ特徴的な状態が確認できるか表にまとめたものであり、植物については開花時

期と結実の時期が記されていた。単に生物ごよみを作成するが目的という訳ではなく、自然教育園を町内の公園等特定の場所に置き換えた同様のこよみがあれば、今後、学校の総合学習での活用や一般の方を対象とする植物のガイドブック、ガイドマップ等の作成に繋がるのではと考えていた。

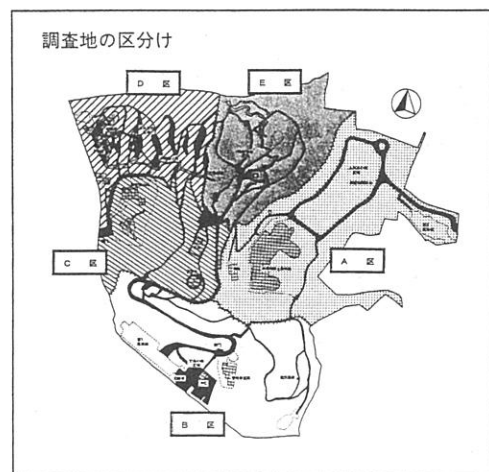
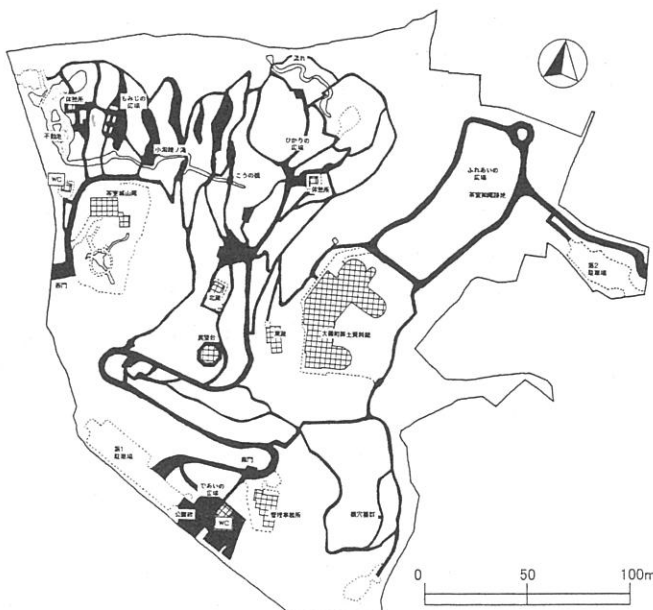
調査の具体化を考えるうえで一番の難題は、参加人数であり、平成11・12年度の参加者がそれぞれ10人、6人と当初予定していた人数30人からは大幅に下回り、今回も同様に少人数となることが予想された。したがって、10人程度の参加でも可能な内容ということが第一条件になると思った。前述の町全域における植物の分布状況調査については平日、土・日曜日を含めて数日間連続して講座を組んだ場合、参加人数が少ないことが予測された。また、参加者が集まりやすいように調査は土・日曜日のみとし、1日に巡回する距離を伸ばして実施した場合、晴天が続けば順調に進むが、雨天が続くようだと時間が空きすぎて、十分なデータを得るところまで至らないように考えられた。結局のところ、小中学校等他機関等の協力を得て、相応の人数を確保できないと広範囲の調査においては本質的に意義のある調査に結びつかないと思った。後述の特定場所に絞った調査については、仮に少人数であっても調査範囲を狭めることで調査が可能となるため、具体化を進めることにした。

4. 調査の具体化

新たな企画を検討する中で、対象とする年齢層は前企画“秋の植物”の分布調査で小中学生の参加が全くなかったこともあり、特に小中学生を中心にした内容を考えていた。講座開催の曜日は、平成14年度の完

全学校週5日制の導入により、当館に対して第2・第4土曜日の小中学生を対象とする講座の開設等の要望が各所からきていた背景から、第2・第4のいずれかの土曜日を利用して、全12回を案とした。しかしながら、想定される調査結果から勘案して月1回の調査では、天候が悪く1回の調査が中止になった場合、1月間全く記録の取れない月が出てしまう状況が考えられ、1年を通したデータ収集のためには最低でも月2回の実施が必要と思った。年間スケジュールをもとに年末年始やお盆の期間、他の事業との兼ね合い等も考慮して、講座の実施可能な第2・第4土曜日のすべて全20回を行うことにした。20回を行うということについては、当時、担当していた事務に多分に影響が出るのが予測され、また土・日曜日の職員ローテーションに影響が出ることは十分承知していたが、背景として、かつて私が担当した企画展事業において、化石、植物、鳥類、哺乳類等企画を組んできたが、内容としてはどれも種の識別を中心とするものばかりで、掘り下げた内容のものができていない。企画展を見た人たちが何かを感じて、次に何かしら繋げられるような内容のものができていないということを感じており、単に私一人の力でまとめるのではなく、多くの方々の意見や協力を得た方が充実した展示内容になるのではと思い、将来的な企画展も視野に入れて実施を進めることにした。

場所については当初、高麗山、鷹取山、城山公園の3箇所を候補とした。高麗山など自然植生の場所を調査の方が有意義な調査が展開できるのではと考えたが、集合時の駐車場の確保、調査時のトイレの確保、事故発生時の対処などを考えた時に1年という長期の活動においては、当館の位置する城山公園で活動を展開するのが、一番無難であると判断した。



県立大磯城山公園（県立大磯城山公園平面図をもとに作成）

県立大磯城山公園の広さは約7haであり、園内すべての園道を歩くと大体1時間半から2時間かかる。調査で植物を観察し、確認地点を調査表に記入しながら歩くと3時間以上かかるため、城山公園を5区域に分け、各区域3、4人で巡回し、開花している植物を確認後、植物の確認場所を地図に落としとしていく作業を進めることにした。

5. 2001年度の活動概要

3月末に配布される広報おおいそ4月号で参加者を募集した。募集の際、対象は“植物に興味のある方”とした。募集人数30人のところ16人の申し込みがあったが、小中学生の応募は無かった。参加者は年度途中で1人増え17人になった。調査は第2・第4土曜日を中心に行った。調査時間は当初の企画では午前9時から11時までの2時間としたが、2時間では全区域を廻りきれず、11時30分頃まで行うことが多かった。講座の進行としては、最初に当日、確認できそうな植物について学習会を行い、各班に分かれて調査コースを巡回。終了後、班毎に調査表をまとめていただいた。また、情報の共有を図るため、毎月、草と木の調査だよりを発行した。

調査方法に関して、年度内に意見交換を2回、アンケートを1回実施した。意見交換は第1回、第2回の講座時に行った。第1回の講座では、調査地の下見後、叩き台として考えていた調査方法について意見をいただき、効率的な調査活動ができるように検討した。参加者の方より園内各所で計測用の原点を決め、メジャーを使って原点からの距離を図った方がより正確に地

図上に確認地点を落とすことができるのではと意見をいただいた。いただいた意見を実際の調査に反映させようと考えたが、1つ1つの植物について、原点からの距離を計測しては時間が掛かりすぎるため、目測で地図に落とすことにした。第2回の意見交換では、講座当日の朝、学習会を通して観察できそうな植物の知識を深めるよりも事前に予習用の資料を送付いただければ、調査時には植物の識別が効率よく進むのではという意見をいただいた。以降の調査会においては、意見をもとに私が事前に城山公園を巡回して、開花しているものを調べ、列記したものを予習用の資料として毎回、郵送することにした。

アンケート調査(11月末実施)では、当年度の調査方法の問題点抽出や次年度の調査内容について意見を出していただいた。問題点としては、調査主体で進められており、植物の同定等の知識を深める内容が薄いこと。設定した時間が短く、また調査に時間が掛かりすぎているためゆとりを持った活動ができていないことなどがあげられた。また、要望としては、草と木の調査という講座名になっているが、草花の開花確認調査が中心となっているので、樹木についての学習の機会を設けてほしい。開始時間を30分遅らせてほしい等の意見が出た。いただいた意見を参考に1月から植物の同定に知識を増やすため、個々の植物の見分けた方を中心とする学習会を始めた。また、調査結果の情報の共有を図るため、調査終了後、各地区の状況について情報交換会を始めた。

6. 2002年度の活動概要

2001年度の参加者に対しては3月に継続受講の意思確認を行い、新規受講者の募集は3月末に配布される広報おおいそ4月号で参加を募った。継続受講者10人、新規受講者8人の計18人で2002年度の活動を開始した。年度途中で2人増え、参加者は20人になった。調査は前年度と同様に第2・第4土曜日を中心に行い、時間は要望のとおり、開始時間を30分遅らせ、毎回、時間が不足していた反省から講座を正味2時間30分に延長して9時30分から正午ということで進めた。調査の内容については、前年度と同様に城山公園の花ごよみ調査を中心に行った。前年度の途中から行った講座予習用の資料の送付、個々の植物の種同定を中心とした学習会、情報の共有を図る情報交換会は引き続き継続して行い、新しい試みとして、外部から講師を招いて公開講座を実施した。特にこの公開講座では、前年度のアンケートで意見の出た、樹木に関する知識の習得を目的として、高麗山の樹木を中心に観察会を実施した。講師は大磯町文化財専門委員で、神奈川県立生命の星・地球博物館の名誉館員である高橋秀男先生にお願いした。公開講座という形式をとり、当講座参加者以外の申し込みも受け付けたが、当日は草と木の調

草と木の調査だより

準備号

大磯町郷土資料館 2001年4月20日発行

4月28日から新しい「草と木の調査～城山公園の植物～」が始まります。この度の調査では、城山公園で見られる植物の開花時期や所在を調べ、公園の花ごよみ、植物地図を作ります。

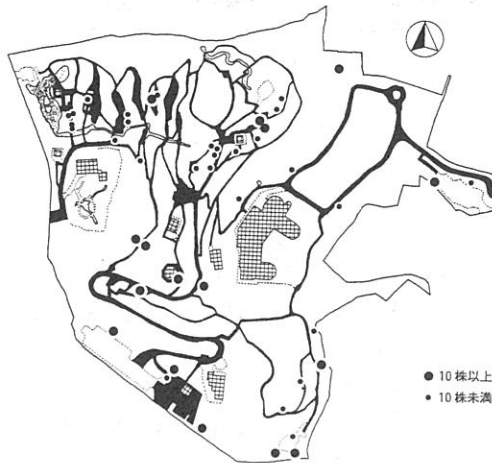
<p>はじめに</p> <p>城山公園には昔からの地域固有の植物、人為的に觀賞用として植栽された植物、どこからか紛れ込んだ植物と非常に多様といえる植物相が見られます。今回の草と木の調査では1年を通して、城山公園の樹木、野草を見ていきます。園内の植物や開花する植物の移り変わり、四季の移り変わりの観察を通して身近な自然を見つめ直す機会になればと考えております。</p>	<p>調査の進め方</p> <p>城山公園をいくつかの区域に分けます。一人が一つの区域を担当し、担当区域内にどんな花が咲いているか、調査表に記録していきます。一通り回ったあと、調査表をまとめ、情報交換会を行います。</p> <p>・調査予定日 4月28日、5月12日、5月26日、6月9日、 6月23日、7月14日、8月4日、8月25日、 9月8日、9月22日、10月13日、11月10日、 11月24日、12月8日、1月12日、1月26日、 2月9日、2月23日、3月9日、3月23日 ※ご都合に合わせて、可能な時にご参加下さい。</p>
<p>ご持参下さい</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 筆記用具 ● 色鉛筆 ● 簡単な植物図鑑(お持ちの方のみでかまいません) 	<p>4月28日のラインアップ</p> <p>ヒメオドリコソウ、ホトケノザ、オオイヌフグリ、 カントウタンポポ、セイヨウタンポポ、ヤマブキ、 ヤエヤマキ、シロヤマブキ、ホウチャクソウ、 エビネ、クリシマツツジ、クムメツツジなど</p>

みなさんの身近に咲く花や花にまつわる思いを話しご投稿下さい。本誌面で紹介したいと思っております。その他、ご意見などもお待ちしております。

「草と木の調査だより ～準備号～」

オニタビラコ

〔キク科 オニタビラコ属〕



2001年度第1回調査(2001年5月12日実施) オニタビラコの集計結果

調査参加者13人、それ以外の参加者14人の計27人の参加があった。調査方法に関して、前年度と同様に12月末にアンケートを実施した。回答は時間、内容共に適当というものがほとんどであった。年度の最後の講座で次年度の講座内容について意見交換会の時間を設けた。次年度以降の講座の方向性について、第2・第4土曜日すべて同じ内容を進めるのではなく、どちらか一方、知識を深めるための時間として活用にはどうか。新規受講者が植物に親しめるような内容を導入してはどうかという意見をいただいた。

7. 2003年度の活動概要

2002年度の参加者に対しては4月に継続受講の意思確認を行い、新規受講者の募集は4月末に配布される広報おおいそ5月号で参加を募った。継続受講者10人、新規受講者8人の計18人で2003年度の活動を開始した。年度途中で1人の参加があり、最終的には19人になった。調査日時は、前年度と同様の第2・第4土曜日を中心に全20回。午前9時30分から正午とした。内容については次のとおり変更した。2001年度・2002年度、進めてきた城山公園の花ごよみ調査は第4土曜日のみとし、第2土曜日はシダ植物・ドングリ・樹木の各種調査等、毎回内容を変えて行った。また、新しい試みとして、ラミネーターを使用した植物図鑑の作成を行った。第17回の講座時に次年度以降の方向性について話し合った。今後の調査のまとめ方・調査結果の公表の仕方について意見交換し、i) 調査報告書の作成、ii) 園内樹木の名札付け、iii) 城山公園 四季の植物 ホームページの開設、iv) 城山公園のガイドブックの作成等4点について進めてはと意見があがった。

8. 今後の活動とまとめ

当面、毎回行っている城山公園の花ごよみ調査とともに先に記したようなことを並行して進めることにした。3年間継続して城山公園の開花状況を調査してお

り、長期参加されている方にとっては場所を移して調査を進めた方が新鮮味もあり、より楽しめるかと思われるが、最終的な成果品の完成までは継続して城山公園の調査を進めたいと考えている。毎年、新たに参加される方にとっては、城山公園の身近な自然は親しみやすく、また、植物の種類も豊富で植物の知識を増やすには格好の場所と意見をいただいている。本講座は単に調査目的に行っている訳ではなく、教育普及的な意味も含まれており、当館の立地を利用し、城山公園をベースとした調査・普及活動を行うことは有意義なことではないかと考える。

講座を開始してから3年が経ち、充実した結果が集まってきた。講座を始めたころは、私自身、植物に関して知識が薄く、時に参加者の方の支えにより、継続できたということもある。特に本講座にご参加の石井竹夫さんには、毎回、「県立大磯城山公園薬用植物花ごよみ」等の資料を作成していただき、調査を進めるうえで非常に参考になった。同資料は園内で撮影された植物の写真とともに個々の植物の薬効等トピックスが記載されており、単に植物同定の資料に限らず、植物の特徴付けという点でもすぐれたものであった。同資料の作成のため年間に2001年度は62回、2002年度は62回、2003年度は47回来園され、調査されている。ほぼ、土・日曜日は毎回来園されており、企画立案者としては頭の下がる思いである。また、度々城山公園に来て、開花植物を撮影されるのも大変かと思うが、個々の植物の解説を継続してご執筆されており、本調査に対する熱意を感じるとともに本企画に対してご賛同・ご協力いただいたことに深く感謝申し上げる次第である。石井さんに限らず、参加されている多くの方の知識の提供や活動に対するご協力によって、本講座が成り立っていることを再認識しつつ、今後も地道な活動を進めていきたいと思っている。

参考文献

- 矢野亮ほか(1981)『自然保護教育のためのカリキュラム作成に関する研究 ～自然教育園をフィールドにして～』国立科学博物館付属自然教育園。
- 石井竹夫(2001)『県立大磯城山公園植物目録』
- 石井竹夫(2001～2002)『県立大磯城山公園薬用植物花ごよみ No. 1～No. 21』
- 石井竹夫(2002～2003)『続・県立大磯城山公園薬用植物花ごよみ No. 1～No. 20』
- 石井竹夫(2003～2004)『大磯町の植物 No. 1～No. 15』
- 北水慶一(2001)「草と木の調査」概要報告, 『年報—平成11年度—』大磯町郷土資料館。
- 北水慶一(2001～2004)『草と木の調査だより 準備号, 第1号～第10・11号, 2002年度号, No. 03-01～03-11』大磯町郷土資料館。

草と木の調査「城山公園の植物」 活動の一覧

2001 年度

第 1 回(通第1回)

- 期 日 4月28日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 12人
- 活動内容
 - 1. 自己紹介
 - 2. ガイダンス
 - (1) 調査の趣旨 (2) 調査の方法
 - 3. 調査地下見
 - 4. 調査方法に関する意見交換
(調査方法の問題点抽出、検討)

第 2 回(通第2回)

- 期 日 5月12日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 9人
- 活動内容
 - 1. 学習会1 (城山公園の植物目録の解説/石井竹夫氏より)
 - 2. 学習会2 (5月中旬に開花する植物の見分け方)
 - 3. 第1回城山公園花ごよみ調査
 - 4. 調査方法に関する意見交換
(調査方法の問題点抽出、検討)

第 3 回(通第3回)

- 期 日 5月26日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 12人
- 活動内容
 - 1. 自己紹介
 - 2. 第2回城山公園花ごよみ調査
 - 3. 調査表のまとめ

第 4 回(通第4回)

- 期 日 6月9日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 10人
- 活動内容
 - 1. 学習会 (6月上旬に開花する植物の見分け方)
 - 2. 第3回城山公園花ごよみ調査
 - 3. 調査表のまとめ

第 5 回(通第5回)

- 期 日 6月23日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 12人
- 活動内容
 - 1. 第1回～第3回城山公園花ごよみ調査結果報告

- 2. 第4回城山公園花ごよみ調査
- 3. 調査表のまとめ

第 6 回(通第6回)

- 期 日 7月14日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 8人
- 活動内容
 - 1. 城山公園の植物の近況について
 - 2. 第5回城山公園花ごよみ調査
 - 3. 調査表のまとめ

第 7 回(通第7回)

- 期 日 8月4日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 9人
- 活動内容
 - 1. 城山公園の植物の近況について
 - 2. 第6回城山公園花ごよみ調査
 - 3. 調査表のまとめ

第 8 回(通第8回)

- 期 日 8月25日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 8人
- 活動内容
 - 1. 城山公園の植物の近況について
 - 2. 第7回城山公園花ごよみ調査
 - 3. 調査表のまとめ

第 9 回(通第9回)

- 期 日 9月8日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 8人
- 活動内容
 - 1. 城山公園の植物の近況について
 - 2. 第8回城山公園花ごよみ調査
 - 3. 調査表のまとめ

第 10 回(通第10回)

- 期 日 9月22日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 9人
- 活動内容
 - 1. 城山公園の植物の近況について
 - 2. サガミランの観察会
 - 3. 第9回城山公園花ごよみ調査
 - 4. 調査表のまとめ

第 11 回(通第 11 回)

- 期 日 10月13日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 7人
- 活動内容
 - 1. 城山公園の植物の近況について
 - 2. サガミランの観察
 - 3. 第10回城山公園花ごよみ調査
 - 4. 調査表のまとめ

第 12 回(通第 12 回)

- 期 日 11月10日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室
- 参加人数 4人
- 活動内容
 - 1. 作業説明
 - 2. 第1回～第10回の調査表のまとめ

第 13 回(通第 13 回)

- 期 日 11月24日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 9人
- 活動内容
 - 1. 城山公園の植物の近況について
 - 2. 第11回城山公園花ごよみ調査
 - 3. 調査表のまとめ

第 14 回(通第 14 回)

- 期 日 12月8日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 7人
- 活動内容
 - 1. 城山公園の植物の近況について
 - 2. 第12回城山公園花ごよみ調査
 - 3. 調査表のまとめ

第 15 回(通第 15 回)

- 期 日 1月12日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 9人
- 活動内容
 - 1. アンケートの集計について
 - 2. 講座の進め方の一部変更について検討会
 - 3. 学習会(ヤブタビラコ属とオニタビラコ属の見分け方)
 - 4. 第13回城山公園花ごよみ調査
 - 5. 調査表のまとめ
 - 6. 情報交換会

第 16 回(通第 16 回)

- 期 日 1月26日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 7人

○ 活動内容

- 1. 学習会(ハハコグサ属の見分け方)
- 2. チチコグサモドキ、ウラジロチチコグサの観察
- 3. 第14回城山公園花ごよみ調査
- 4. 調査表のまとめ
- 5. 情報交換会

第 17 回(通第 17 回)

- 期 日 2月9日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 8人
- 活動内容
 - 1. 学習会1(センダングサ属の見分け方)
 - 2. 学習会2(サザンカ、ヤブツバキ、カンツバキの見分け方)
 - 3. 第15回城山公園花ごよみ調査
 - 4. 調査表のまとめ
 - 5. 情報交換会

第 18 回(通第 18 回)

- 期 日 2月23日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 7人
- 活動内容
 - 1. 学習会1(ハコベの見分け方)
 - 2. 学習会2(ミミナグサ属の見分け方)
 - 3. 第16回城山公園花ごよみ調査
 - 4. 調査表のまとめ
 - 5. 情報交換会

第 19 回(通第 19 回)

- 期 日 3月9日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 7人
- 活動内容
 - 1. 学習会(ミミナグサ属の見分け方)
 - 2. 第17回城山公園花ごよみ調査
 - 3. 調査表のまとめ
 - 4. 情報交換会



〔2001年度第1回〕ガイダンスの様子(2001年4月28日撮影)

第 20 回(通第 20 回)

- 期 日 3月23日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 8人
- 活動内容

1. 第18回城山公園花ごよみ調査
2. 調査表のまとめ
3. 情報交換会
4. 平成13年度講座のまとめ

2002 年度

第 1 回(通第 21 回)

- 期 日 4月13日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 13人
- 活動内容

1. 館長あいさつ
2. 自己紹介
3. ガイダンス
- (1) 調査の目的 (2) 調査の方法
4. 第1回城山公園花ごよみ調査
5. 調査表のまとめ
6. 情報交換会

第 2 回(通第 22 回)

- 期 日 4月27日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 16人
- 活動内容

1. 自己紹介
2. 平成13年度調査の結果報告
3. 第2回城山公園花ごよみ調査
4. 調査表のまとめ
5. 情報交換会

第 3 回(通第 23 回)

- 期 日 5月11日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 14人
- 活動内容

1. 学習会(タツナミソウ属の見分け方)
2. 第3回城山公園花ごよみ調査
3. 調査表のまとめ
4. 情報交換会

第 4 回(通第 24 回)

- 期 日 5月25日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 10人

○ 活動内容

1. 学習会(マツヨイグサ属の見分け方)
2. 第4回城山公園花ごよみ調査
3. 調査表のまとめ
4. 情報交換会

第 5 回(通第 25 回)

- 期 日 6月8日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 8人
- 活動内容

1. 学習会(ハエドクソウ属の見分け方)
2. 第5回城山公園花ごよみ調査
3. 調査表のまとめ
4. 情報交換会

第 6 回(通第 26 回)

- 期 日 6月22日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 10人
- 活動内容

1. 学習会(ヤマノイモ属の見分け方)
2. 第6回城山公園花ごよみ調査
3. 調査表のまとめ
4. 情報交換会
5. ヒメヤブランの観察

第 7 回(通第 27 回)

- 期 日 7月6日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 10人
- 活動内容

1. 観察会(マヤランの観察)
2. 第7回城山公園花ごよみ調査
3. 調査表のまとめ
4. 情報交換会

第 8 回(通第 28 回)

- 期 日 8月3日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 9人
- 活動内容

1. 学習会(サガミランの保護について)
2. 第8回城山公園花ごよみ調査
3. 調査表のまとめ
4. 情報交換会

第 9 回(通第 29 回)

- 期 日 8月24日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 9人
- 活動内容

1. 学習会 (エノコログサ属の見分け方)
2. 第9回城山公園花ごよみ調査
3. 調査表のまとめ
4. 情報交換会

第10回(通第30回)

- 期 日 9月14日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 5人
- 活動内容
 1. 学習会 (イノコヅチ属の見分け方)
 2. 第10回城山公園花ごよみ調査
 3. 調査表のまとめ
 4. 情報交換会

第11回(通第31回)

- 期 日 9月28日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室
- 参加人数 5人
- 活動内容
 1. 学習会 (チヂミザサ属の見分け方)
 2. 植物腊葉標本の作成
 3. 第1回～第10回花ごよみ調査の集計

第12回(通第32回)

- 期 日 10月5日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 7人
- 活動内容
 1. 学習会 (カタバミ属の見分け方)
 2. 第11回城山公園花ごよみ調査
 3. 調査表のまとめ
 4. 情報交換会

第13回【特別公開講座】(通第33回)

- 期 日 11月2日(土)
- 場 所 生涯学習館、高麗山
- 参加人数 13人(総参加人数27人)
- 活動内容
 1. 講師紹介(講師:高橋秀男氏)
 2. 「葉による樹木の見分け方」解説
 3. 高麗山の樹木観察

第14回(通第34回)

- 期 日 11月16日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 6人
- 活動内容
 1. 高麗山の樹木観察の復習
 2. 第12回城山公園花ごよみ調査
 3. 調査表のまとめ
 4. 情報交換会

第15回(通第35回)

- 期 日 12月14日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 8人
- 活動内容
 1. 観察会(ヒノキ属とアスナロ属の見分け方)
 2. ミニ展示「収蔵昆虫標本展」見学
 3. 第13回城山公園花ごよみ調査
 4. 調査表のまとめ
 5. 情報交換会

第16回(通第36回)

- 期 日 1月18日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 9人
- 活動内容
 1. 城山公園主要樹木目録更新(ひかりの広場)
 2. 調査表のまとめ
 3. 情報交換会

第17回(通第37回)

- 期 日 2月8日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 5人
- 活動内容
 1. 城山公園主要樹木目録更新(郷土資料館周辺)
 2. 第14回城山公園花ごよみ調査
 3. 調査表のまとめ
 4. 情報交換会

第18回(通第38回)

- 期 日 2月22日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 6人
- 活動内容
 1. 学習会(平成14年度全種の記録について)
 2. 第15回城山公園花ごよみ調査
 3. 調査表のまとめ
 4. 情報交換会



〔2002年度第6回〕ヒメヤブランの観察(2002年6月22日撮影)

第 19 回(通第 39 回)

- 期 日 3月8日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 6人
- 活動内容

1. 第16回城山公園花ごよみ調査
2. 調査表のまとめ
3. 情報交換会
4. フクジュソウ、ヒイラギナンテンの実験

第 20 回(通第 40 回)

- 期 日 3月22日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 8人
- 活動内容

1. 第17回城山公園花ごよみ調査
2. 調査表のまとめ
3. 情報交換会
4. 平成14年度のまとめ
5. ミーティング(平成15年度の講座について)

2003 年度

第 1 回(通第 41 回)

- 期 日 4月12日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 6人
- 活動内容

1. 平成14年度調査の結果報告
2. 第1回城山公園花ごよみ調査
3. 調査表のまとめ
4. 情報交換会

第 2 回(通第 42 回)

- 期 日 4月26日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 5人
- 活動内容

1. 第2回城山公園花ごよみ調査
2. 調査表のまとめ
3. 情報交換会
4. 植物研究史について講話

第 3 回(通第 43 回)

- 期 日 5月24日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 14人
- 活動内容

1. 自己紹介
2. ガイダンス
 - (1) 調査の目的
 - (2) 調査の方法

3. 第3回城山公園花ごよみ調査
4. 調査表のまとめ
5. 情報交換会

第 4 回(通第 44 回)

- 期 日 6月14日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 12人
- 活動内容

1. 落ち葉の採集
2. 名前しらべ
3. キャプションの作成
4. 押し葉標本の作成

第 5 回(通第 45 回)

- 期 日 6月28日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 10人
- 活動内容

1. 第4回城山公園花ごよみ調査
2. 調査表のまとめ
3. 情報交換会

第 6 回(通第 46 回)

- 期 日 7月12日(土)
- 場 所 生涯学習館、高麗山
- 参加人数 13人
- 活動内容

1. 講師紹介(講師:渡辺良子氏)
2. シダ植物について講話
3. 高麗山の植物観察

第 7 回(通第 47 回)

- 期 日 7月26日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 9人
- 活動内容

1. 第5回城山公園花ごよみ調査
2. 調査表のまとめ
3. 情報交換

第 8 回(通第 48 回)

- 期 日 8月9日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室
- 参加人数 8人
- 活動内容

1. シダ植物の名前しらべ

第 9 回(通第 49 回)

- 期 日 8月23日(土)
- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
- 参加人数 8人

○ 活動内容

1. 第6回城山公園花ごよみ調査
2. 調査表のまとめ
3. 情報交換会

第10回(通第50回)

- 期 日 9月13日(土)
臨時休講

第11回(通第51回)

- 期 日 9月27日(土)
○ 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
○ 参加人数 8人
○ 活動内容
1. 第7回城山公園花ごよみ調査
2. 調査表のまとめ
3. 情報交換会

第12回(通第52回)

- 期 日 10月11日(土)
○ 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
○ 参加人数 9人
○ 活動内容
1. シダ植物検索図の作成
2. 城山公園のシダ植物調査

第13回(通第53回)

- 期 日 11月8日(土)
○ 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
○ 参加人数 9人
○ 活動内容
1. ドングリの説明(講師:石井竹夫氏)
2. ドングリ調査

第14回(通第54回)

- 期 日 11月22日(土)
○ 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
○ 参加人数 7人
○ 活動内容
1. 第8回城山公園花ごよみ調査
2. 調査表のまとめ
3. 情報交換会

第15回(通第55回)

- 期 日 12月13日(土)
○ 場 所 郷土資料館研修室
○ 参加人数 11人
○ 活動内容
1. わたしの樹木観察図鑑作成
ラミネート・冊子化

第16回(通第56回)

- 期 日 1月24日(土)

- 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
○ 参加人数 10人
○ 活動内容
1. 第9回城山公園花ごよみ調査
2. 調査表のまとめ
3. 情報交換会

第17回(通第57回)

- 期 日 2月7日(土)
○ 場 所 郷土資料館研修室
○ 参加人数 8人
○ 活動内容
1. 城山公園ガイドブック作成にあたってのミーティング
2. 本講座の今後の展開についてミーティング

第18回(通第58回)

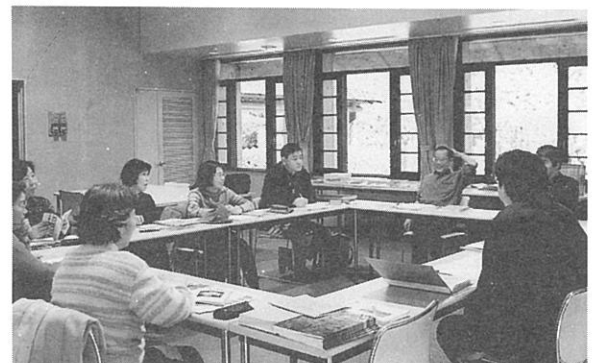
- 期 日 2月28日(土)
○ 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
○ 参加人数 8人
○ 活動内容
1. 第10回城山公園花ごよみ調査
2. 調査表のまとめ
3. 情報交換会

第19回(通第59回)

- 期 日 3月13日(土)
○ 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
○ 参加人数 10人
○ 活動内容
1. 城山公園の樹木ネームプレート調査
2. 情報交換会

第20回(通第60回)

- 期 日 3月27日(土)
○ 場 所 郷土資料館研修室、城山公園
○ 参加人数 8人
○ 活動内容
1. 第11回城山公園花ごよみ調査
2. 調査表のまとめ
3. 情報交換会



[2003年度第20回] ミーティングの様子(2004年3月20日撮影)